

令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	千曲市
------	-----

No.	事業項目	事業名
1	「森林を支える豊かな地域づくり」に関する事業	千曲市森林づくり推進支援金活用事業（里山景観整備事業）
事業費		778,500円（うち支援金：778,500円）

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

地域の高齢化や若者の関心の低さが関していると思われるが、手入れが行き届いておらず、森林の荒廃化が進んでいる。

(2) 本事業の目的

里山の景観・森林機能向上や野生鳥獣被害対策を目的として、森林造成事業で補助対象とならない里山の竹林整備・藪払い等の森林整備について補助を行う。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 市内一円

(2) 対象者 森林整備に取り組む団体等

(3) 実施方法

下刈り・竹林整備・藪払い等の作業について、労務費（1人1日あたり 6,000 円）の補助を行う。なお、1 団体あたりの補助金額は 60,000 円を上限とする。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画（平成 30～令和 4 年度）

78 万円×5 年＝390 万円

②令和 4 年度実績

77 万 8,500 円（13 団体）



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

里山景観の向上・野生鳥獣被害の軽減が図られるとともに、市民自ら作業することにより、森林への関心を高めることができた。

(2) 継続性

事業を実施する山林のほとんどが1年では整備できない為、毎年市民の方に作業してもらうことにより市民の団結や森林への関心が高まった。

(3) 普及性

実施場所の中には市民の目に届く場所もあるため、本事業に関して興味を持ってもらえた。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

13団体が施業を行い、延べ人数530人により、合計11.1haの里山の整備が行われた。

(2) 課題

・応募の時点で事業内容の精査を行っているが、施業内容が対象要件に合致しなかった団体もあったことから、募集の段階で対象要件を明確に周知する必要がある。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

ほとんどの団体が引き続き事業を実施する見込み。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

千曲市

No.	事業項目	事業名
2	「木を活かした力強い産業づくり」に関する事業	木製筋工設置事業
事業費 380,000円 (うち支援金: 380,000円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

降雨による林道への土砂流出が度々発生しており、車両の通行に支障が出ている。

(2) 本事業の目的

木柵を設置することにより、林道の強靱化を図り安全な車両の通行ができるとともに木材の利活用の PR や普及を図る。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 千曲市大字戸倉 (林道北山線)

(2) 対象者 千曲市民

(3) 実施方法

県産材を利用して簡易木柵を設置する。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (令和 4 年度)

38 万円

②令和 4 年度実績

38 万円



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

林道の強靱化を図ることができ、さらなる森林整備の活性化につながることができた。

(2) 継続性

市内全域の林道において土砂流出の可能性のある場所に順次設置をしていく。

(3) 普及性

林道を通行する際に直接整備箇所を把握することができ、木材の利活用をPRすることができる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

土砂流出の多発地点に木柵を設置することができ、円滑な車両の通行が実現できた。

(2) 課題

対象範囲が広大なため完了まで時間(複数年)がかかる。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

予算の範囲内で実施

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

千曲市

No.	事業項目	事業名
4	「木を活かした力強い産業づくり」に関する事業	市の施設等への木製ベンチの導入
事業費		400,000円 (うち支援金: 391,500円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

松くい虫被害防除のため伐倒駆除及び燻蒸処理を行っているが、燻蒸処理後に放置される被害材が景観を悪くしている。

(2) 本事業の目的

松くい虫被害材を利用した木製ベンチを市営施設に設置し、被害材の有効活用を図るとともに市民等に対して間伐材等の利用の普及・啓発を行う。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 市の施設等 (大池自然の家、市内バス停)

(2) 対象者 地域住民

(3) 実施方法

間伐材を利用したベンチを作成し市内の公園等施設に設置をする。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30～令和 4 年度)

4 基×5 年=20 基

②令和 4 年度実績

5 基 (松くい虫被害木を活用) (大池自然の家 2 基、市内バス停 3 基)



くつろぎベンチ

このベンチは長野県森林づくり県民税 (森林税) 活用事業により松くい虫被害材を使用し製作しました。

材料は千曲市桑原の林道佐野山線沿いのアカマツで、松くい虫により枯れた木を製材しベンチにしました。

くつろぎベンチで、善光寺平や棚田の風景を見ながら、どうぞゆっくりおくつろぎ下さい。



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

松くい虫被害木の有効活用を図ることができ、解説パネルを合わせて設置することで、市民への普及・啓発に寄与することができた。

(2) 継続性

市内の施設に計画的に設置できた。

(3) 普及性

設置したベンチが被害材を利用したものと分かるよう看板を置いたり、HP等でPRを行った。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

市内の循環バスの停留所に松くい虫の被害木を利用した木製ベンチを5基設置した。

(2) 課題

- ・被害木について搬出し易い箇所を選定しないと製作費用が高んでしまう。
- ・製材に適した被害木の選木が必要。

(3) 今後の取組方向

- 事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

松くい虫被害木を活用したベンチ 5基

- 事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

- 事業を継続しない

(継続しない理由を記載)